

基本理念

○ 食を通じて、市民一人ひとりが生涯にわたって健やかでこころ豊かに楽しく生活できるまちづくりのために

重点課題

- 1 健康寿命の延伸につながる食育の推進
 栄養の偏りや不規則な食生活などに起因した肥満・生活習慣病の増加、高齢化社会に向けた高齢者の低栄養予防など本市の抱える健康上の課題改善に向け、ライフステージに応じた間断しない食育を推進する。
- 2 子育て世代を中心とした食育の推進
 子育て世代は次世代に向けての食育だけでなく、自身の生活習慣病予防や将来的な健康寿命延伸といった生涯にわたる食育の中心的世代ととらえ、子育て世代を柱とした食育を推進する。
- 3 多様なライフスタイルに対応した食育の推進
 様々な家族の状況や生活の多様化に対応し、こどもや高齢者を含む全ての市民が健全で充実した食生活を実現できるような食体験や共食の機会を提供していく。
- 4 食環境の整備を意識した食育の推進
 食の安全、食品ロス、地産地消など食にかかわる様々な環境を整備し、市民が食育を実践しやすい食環境づくりをすすめる。
- 5 地域の食文化の継承に向けた食育の推進
 いわき市内の各地域で長年伝えられてきた郷土料理や行事食などに関心を持ち、日々の食生活の中に取り入れていくことを目指す。

目標	該当する重点課題、目標等
指標	
1 食育に関心を持っている市民を増やす	推進に当たったの目標
食育に関心を持っている市民の割合	
2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	3
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	
3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす	3
地域等で共食をしたいと思う人が共食する割合	
4 朝食を欠食する市民を減らす	1、2
朝食を欠食する市民の割合（学童期、思春期、青年期）	
5 学校給食に係る地場産物等を使用する割合を増やす	4
学校給食における地場産物を使用する割合	
6 栄養バランスに配慮した食生活を実践する市民を増やす	
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	1
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている子育て世代の割合	1、2
7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する市民を増やす	
生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する市民の割合	1
適正体重と判定される市民の割合（内児童・生徒は学校保健統計から別枠で確認）	1、2
いきいきiwaki食育・健康応援店の登録数	1、2、3、4
外食や食品を購入する時に、栄養成分表示を参考にする市民の割合	1、4
8 ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす	1
ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合	
9 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす	推進に当たったの目標
食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している市民の数	
10 農林漁業体験を経験した市民を増やす	4
農林漁業体験を経験した市民（世帯）の割合	
11 食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民を増やす	4
食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合	
12 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている市民を増やす	
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている市民の割合	5
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している子育て世代の割合	2、5
13 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす	
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合	1、4
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する子育て世代の割合	1、2、4

* 第2次いわき市食育推進計画では指標として掲げていたもの

食事の時間が楽しいと感じている市民の割合（15歳以下）
食物アレルギーに関する知識を持っている市民の割合
自分で料理する機会が週に1度以上ある市民の割合
環境にやさしい農業に取り組む エコファーマー認定者（新しいわき市農業、農村振興基本計画）